

「議案第1号 令和7年度堺市一般会計予算」に対する付帯決議

本件予算歳出中、7款商工費1項商工費3目観光費のうち、大阪観光局負担金80,000千円、大阪デスティネーションキャンペーン協議会負担金4,828千円、堺観光コンベンション協会事業補助284,090千円が計上されている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し旅行を楽しむ人が増える中、国内外からの観光誘客や観光振興は益々重要性を増している。このような中、今期定例会における議会からの指摘事項を真摯に受け止め、真に観光誘客につながる政策推進となるよう十分検討・精査することが重要である。

本事業の実施に際し、市執行機関においては、各会派の意見を踏まえつつ、下記各項について慎重かつ適正に執行することを強く求め、ここに付帯決議する。

記

1. 大阪観光局の事業計画や資料、WEBの表示については、堺エリアに記載を変更し、エリアの重要性と訴求力を強化すること。
2. 積極的な国内外プロモーションによる府域周遊の加速について、大阪観光局のHPやSNSによる発信を強化し、堺市誘客につなげること。
3. 訪日外国人旅行者の府内滞在時間の延長をはかるため、大阪市域に偏っている来訪者について、堺市をはじめとする府域周遊につながる取組を実施すること。
4. 大阪市域に偏っている来訪者の府域周遊を促進し、大阪観光局によって堺の観光をどのように拡大させるかについて指標を明らかにし、他の堺市関連の取組を強化することで堺市誘客を後押しすること。
5. 堺観光コンベンション協会については、真に観光魅力の発信と誘客のための拠点となるよう、本来の目的を達成する観光客のニーズに対応した運営や取組を行うこと。